

令和5年度 第1回鹿児島市清掃事業審議会 会議概要

【日 時】

令和5年7月3日（月） 14時00分～15時45分

【場 所】

市役所西別館2階 201会議室

【出席委員】

井上委員、飯塚委員、小栗委員、倉元委員、島津委員、末永委員、多以良委員、田尻委員、野本委員、前田委員、三原委員、宮竹委員、柳井田委員

【会 次 第】

- 1 開会
- 2 新委員紹介
- 3 会長あいさつ
- 4 議事

(1) 報告事項

- ①第四次一般廃棄物処理基本計画に基づく令和4年度実施状況について
- ②令和5年度資源循環部事業概要について
- ③家庭ごみマイナス100gの取組について

(2) その他

- 5 閉会

【議事概要】

①第四次一般廃棄物処理基本計画に基づく令和4年度実施状況について

委 員：不法投棄とは、具体的にどのようなものがあるのか。

事務局：不法投棄で特に多いものは、レンジ、冷蔵庫、洗濯機などの家庭で使われている家電製品で、他には解体現場で排出されたものなどである。

委 員：親子で取り組む「もやせるごみ」減量実践モニター事業は、どのように参加者を募っているのか。

事務局：各小学校を通じて、親子での参加を募集しており、夏の期間にモニター事業を行っている。

委員：小型家電リサイクル事業について、従来の回収ボックスとはどういう形で置かれているのか。

事務局：本庁舎においては別館とみなと大通り別館の一階に設置しており、市の庁舎関係には17ヶ所、イオンモール鹿児島、イオン鹿児島の鴨池店、オプシアミスミなどの商業施設には10ヶ所、合わせて27ヶ所設置している。回収ボックスは、25センチ×10センチの窓口があり、この大きさで入るものについては回収をしている。それ以上の大きいものは、粗大ごみや金属類として収集をしている。

②令和5年度資源循環部事業概要について

委員：食品ロスの削減推進は、年間のスケジュールの中で、実際にPRをしながら進めていくということでしょうか。

事務局：今年1年は、そのように進めていく。最終的には、食品ロスの削減計画を策定し、その計画の中で、食品ロスの削減につながるような取組みを盛り込み、施策を進めていきたいと考えている。

③家庭ごみマイナス100gの取組について

委員：令和5年度の生ごみ減量ガイドブックの配布対象は。

事務局：コンビニエンスストア等での配布、あとは年が明けて、新年になってから、大学で新入生等の説明会の場で若い世代への啓発をしていきたいと考えている。

委員：1人当たり470グラムとあるが、設定当時と比較してどういうふうに推移しているのか。

事務局：平成28年7月に市民1人1日当たり470グラムと設定した時は、全中核市47市中、鹿児島市は下から8番目という状況でスタートしている。3年度の実績になるが、4年3月の鹿児島市は490グラムという数字になり、これを3年度の全62の中核市で見ると、32番目というところで、ちょうど真ん中ぐらいであり、始まったときからすると大分上に上がってきているという状況である。ちなみに、直近の475グラムを仮に令和3年度の数字で並べてみると、上から22番目に相当するところまで相対的にも上がってきている。